

日本共産党
各務原市議員

今年も72年目のあの日が・・・ 国連は核兵器禁止条約を採択、歴史的壮挙

広島・長崎への原爆投下から72年、今年是人类史上初めて、国連では核兵器を違法化する核兵器禁止条約が採択され、歴史的壮挙が成し遂げられました。

あの日、理由もわからず瞬時に命を奪われた方々。そしてかろうじて生きながらえてきた被爆者の苦しみ、それは深く、今なお続いています。

核兵器をつくったのは人間です。そして使ったのも人間です。そうであれば、なくすことができるとも人間です。核兵器が廃絶されるまで、世界の市民社会の皆さんと私たちも力を尽くしたいと思えます。共に歩み続けましょう。

各務原市議会議員
ハタノこうめ



市内から寄せられた折り鶴

しんぶん赤旗7月30日「潮流」より

その人の記憶の中にある光景を、何度も聞き取りながら、1年近くかけて1枚の油絵に完成させる。絵心のない人間にとっては、途方もない作業に思えます。ましてやそれが72年前の、原爆が落とされた

広島的光景とあっては▼こんな取り組みが長年行われていたことを、まるで知りませんでした。広島市立基町高校創造表現コースの生徒による「原爆の絵」。これまでに制作した原爆の絵は119点。10年目の節目を記念して8月、現地で展示されます▼印象に残った場面を話すのは、祖父母ほど年の離れた被爆者。それを絵で忠実に再現するのは、原爆はおろか戦争すら遠い出来事の高校生。この究極ともいえる被爆体験の継承にヒントを得て、ドラマが誕生しました。8月5日放送の「ふたりのキャンパス」(NHK総合)です▼ドラマで被爆者を演じる近藤正臣さんが記者会見で語ります。「被爆者の方々が、これだけ年が違う若い子を相手に、一生懸命自分の思いや見たものを伝えていかれた努力はすさまじいと思います。(いずれ)被爆者がいなくなる。誰が伝えるか。今度は高校生がそれを伝えてほしいね」▼こゝも付け加えます。「どうして核兵器廃絶の(国連)会議に日本は出席してサインできなかったのか。理由があることは少々わかります。けど広島に住んでいる人たちにとって、そんな理由なんかどうでもいいよ」▼条約への参加を拒む被爆国って何だ。70年余にわたる被爆者の苦悩を思えば多くの人に共通する気持ちです。

「岐阜かがみがはら航空宇宙博物館」条例制定

人間の負の歴史「飛燕」が観光の目玉に

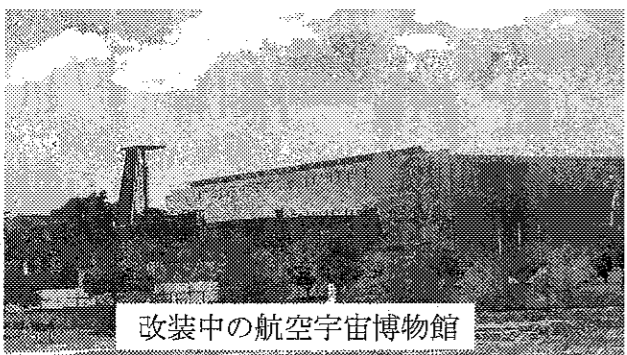
日本共産党

戦争の歴史を美化してはならない
正しく伝えるべし

「かがみがはら航空宇宙科学博物館」は来年3月24日リニューアルオープンします。今度は各務原市と岐阜県の協力で進めます。名称も「岐阜かがみがはら航空宇宙博物館」となり、条例も新しく作り直しました。その条例には小中学生の入館料を無料にすることなど明記されていましたが、設置目的など問題があり、日本共産党市議団は以下の理由で反対しました。しかし賛成多数で可決されました。

条例の設置事項について、航空宇宙技術史、航空宇宙開発への挑戦の物語を伝えるとうたい、地元大手企業を中心とした航空機産業の振興、地域の活性化に寄与するといえます。しかし、県費、市費の公金を投入し力を入れる分野が、地元大手企業を中心とした航空機産業に偏重し、争い向かった時代の技術開発の位置づけを美化することなく、正しく伝えることが前提です。

航空機技術は、実戦に向け戦闘機として開発され殺戮(さつりく)を目的にした道具として使われてきた歴史です。究極の航空機技術を搭載した戦闘機の一つが「飛燕」です。人間の負の歴史を集客の効果を上げる観光の目玉にしています。歴史の真実を覆い隠さず、破壊や攻撃の道具とした人間の過ちを直視し、教育の場とする。条例に明記されていません。本条例に反対です。



改装中の航空宇宙博物館



「さよなら原発各務原」 「原発なくせ」の抗議行動265回にも

「さよなら原発各務原」による
毎週金曜日、市民公園で集会和デ
モは6年目に突入です。原発再稼
働反対、原発なくせと訴え続け、
8月11日の金曜日で通算265回
です。

首都圏反原発連合（反原連）に
よる首相官邸前抗議行動に呼応し
て、全国各地に広がり活動が続い
ています。

毎週金曜日6時、市民公園で、
♪原発反対！ ♪原発地震で壊れ
るぞ！ ♪日本に原発いらんや
よ！ ♪地球に原発いらんやよ！
♪子どもを守るう！ ♪未来を守

ろう！ ♪海を汚すな汚染水！

♪原発なくても電気は足りてる！

♪安全神話はありえない！と、声

を上げています。

最近では参加者が減ってきていま

す。

ぜひあなたも

参加して、一緒

に声を上げ、歩

きませんか。

★毎週金曜日
★夕方6時～
★各務原市民公園



国民健康保険

市民の声は、

「国保料を引き下げて！」

国民健康保険は、現在市町村が運営していま
すが、来年4月からは岐阜県が運営主体となり
ます。

保険料の大幅値上げが心配されています。各
務原市の国保料は、5年連続して引き下げられ
てきました。しかし国保料が高いという声は依
然として多いのが実態です。

国保料はなぜ高いのか

それは国保加入世帯の平均所得が下がり続け、
今や130万円台にまで落ち込みました。不況
による中小企業の経営難・廃業とともに、雇用
破壊で非正規労働者が国保へ流入したこと、低
所得者の高齢者などの増加、そして国の負担を
半減させたことにより、その分国保料が引き上
がったのです。30数年前の一人当たりの国保料
は3〜4万円台でしたが、今は10万円台、4人
家族なら約40万円です。所得が減っているのに
国保料は増えて、重い負担となっています。

国保加入者は貧困なのに国保料は高いという
国保の構造的問題が深刻になっています。

県が運営主体となっても構造的問題が解決さ
れるどころか、国保料の引き上げが懸念されて
います。

ハタノこうめ議員は、市民は国保料負担は限

界であり、基金や繰越金などを財源に国保料の
引き下げは可能と、一人2万円の引き下げを求
めました。

市は、現段階では県に納める納付金の額が示
されていないので試算できる状況にないと、市
の考えは示しませんでした。

子どもの均等割は廃止を

明らかに稼働所得のない子どもに保険料が賦
課されています。平成29年度の均等割は28、
900円です。このような負担は子育て支援に
逆行しているといわざるを得ません。全国知事
会から国に対して子どもに係る均等割の軽減を
求めています。

各務原市としても国に強く制度創設を働きか
けるとともに、制度ができるまで待つのではな
く、市独自の助成で、子どもの均等割を廃止す
べきであると主張し、市の見解を求めました。

市は、国民健康保険法施行令に生まれたばか
りの子どもであっても賦課
することが定められている。

なお、子育て世代に負担軽
減を図るため、全国市長会
などに提言をすると、答弁
しましたが、子どもの均等
割に対する考えも、市独自
で廃止する考えも示しませ
んでした。

